

屋上配管の雨仕舞い用ハト小屋

軽量!!

はと小屋ポップ

®

ユニット化により型枠不要、作業の省力化、工期の短縮!!

Ver.2

下部本体はFRC(繊維補強コンクリート)で強度、耐熱性 OK!!

上部本体・カバーは EPS+ウレタン樹脂塗装で軽量、作業性アップ!!

形状、大きさを自由設計!!

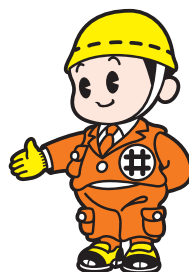


- ・アスファルト防水工事
- ・塗膜防水工事(ウレタン等)
- ・シート防水工事

に
最適!!

建設・設備・電設工事の合理化を実現する

MARUI





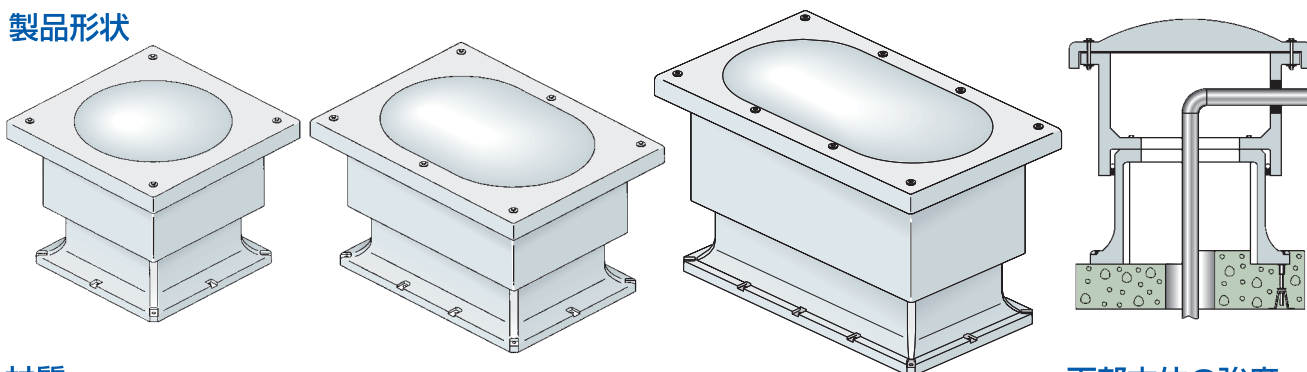
はと小屋ポップ[®]

特長

- 屋上の配管工事においてスラブ貫通孔を通る配管の雨仕舞いとして設置する通称「ハト小屋」をユニット化したものです。
- 配管を取り出す上部本体及びカバーは、基板をEPS、表面にウレタン樹脂を塗布して強化していますので、軽量で取り扱い易く、加工性がよいため、形、大きさなど自由な設計ができます。
- ウレタン表面には塗装ができますので、お好みのカラーに仕上げることができます。
- 下部本体はFRC製なので強度、耐久性、耐熱性にすぐれ、従来のコンクリートに比べて軽量なので作業性が改善されます。
- 各現場状況、防水処理の工法によりコンクリートスラブに埋設したり、コンクリートスラブ上にアンカー固定ができるので、煩雑な作業を省力化でき、工期の短縮が図れます。

製品仕様

製品形状



材質

	材質			塗装色 (吹付け塗装)	下部本体の強度	
	基板	表面			圧縮強度 (N/mm ²)	曲げ強度 (N/mm ²)
上部本体	EPS(ビーズ法ポリスチレンフォーム) (難燃性、自己消火性) (発泡倍率45倍)	35mm	ウレタン樹脂塗装 (2mm)	グレー (水性アクリル系)	25~30	10
カバー		30mm				
下部本体	FRC(繊維補強コンクリート)+発泡ガラス			なし		

重量

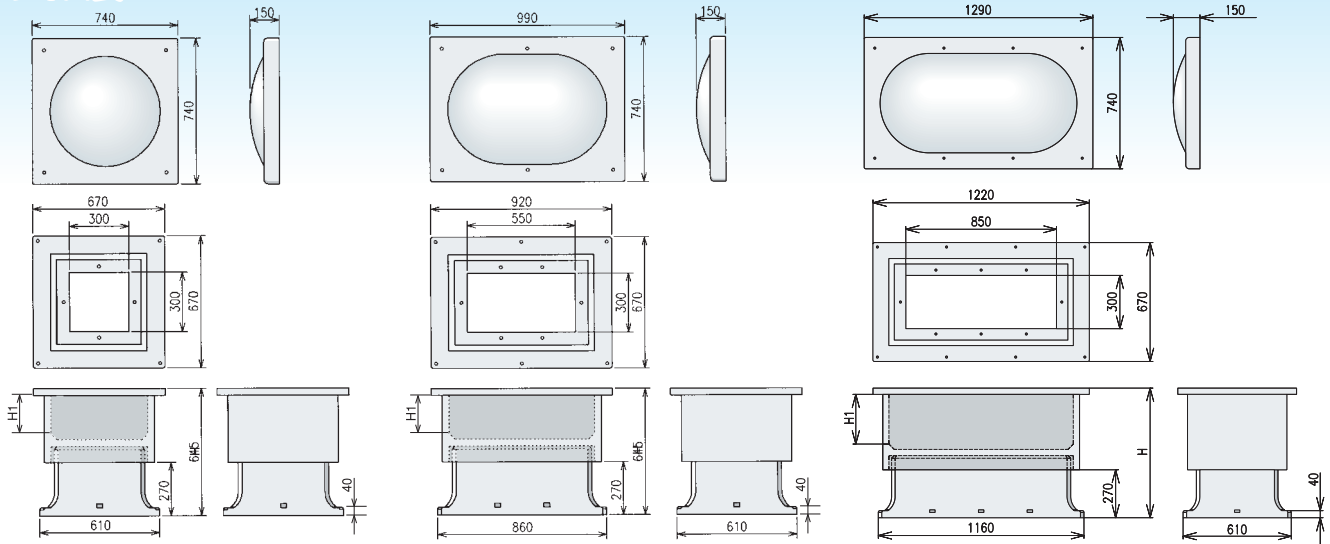
型式	重量		
	下部本体(kg)	上部本体(kg)	カバー(kg)
C3030-1	48	5.3	4.0
C3030-2		5.5	
C3030-3		6.0	
C3055-1	66	6.0	5.0
C3055-2		6.5	
C3055-3		7.0	
C3085-1	82.5	8.0	6.5
C3085-2		8.5	
C3085-3		9.0	

付属品一覧

部品名称	個数		
	C3030	C3055	C3085
カバー固定用	4セット	6セット	8セット
① 六角ボルト(M8×90 SUS)	×1	4	6
② ナット(M8 SUS)	×1	4	6
③ 丸ワッシャ(SUS)	×2	8	12
④ 丸ワッシャ用ゴム板(EPDM)	×2	8	12
上部本体固定用	4セット	6セット	8セット
① 六角ボルト(W3/8×55ユニクロ)	×1	4	6
② 丸ワッシャ(ユニクロ)	×1	4	6

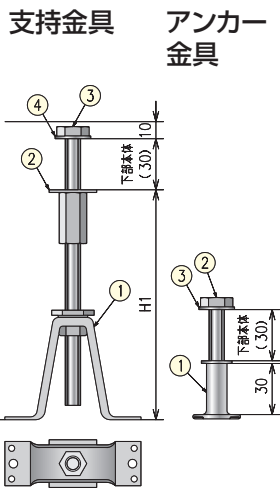
☆特注生産対応 上部本体とカバーはご要望の形状、大きさにできますのでご相談ください。
開口を開ける場合は、その内面もウレタン塗装仕上げとなります。
また、複数の開口を必要とされる場合は、開口の間隔が50mm以上となるようにご指定下さい。

サイズ表

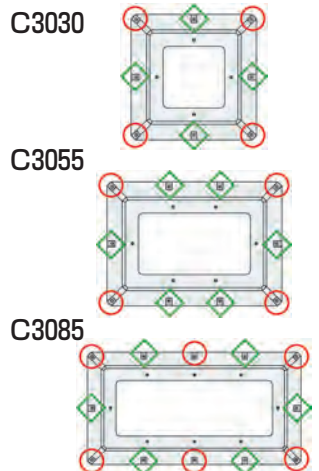


型式	開口有効寸法 (mm)		外寸 (mm)		高さ		適用孔径 (φ)	カバー装着時 (mm)		
	幅	長さ	幅	長さ	(H)	(H1)		幅	長さ	高さ
C3030-1	300	300	670	670	645	195	~80	740	740	750
C3030-2					680	230	~120			785
C3030-3					730	280	~165			835
C3055-1	300	550	670	920	645	195	~80	740	990	750
C3055-2					680	230	~120			785
C3055-3					730	280	~165			835
C3085-1	300	850	670	1220	645	195	~80	740	1290	750
C3085-2					680	230	~120			785
C3085-3					730	280	~165			835

はと小屋ポップ 支持・アンカーセット C3030用・C3055用・C3085用 M-21BA・21BB・21BE



支持アンカー取付箇所



- 部取付孔：支持金具取付箇所
- ◇部取付孔：アンカー金具取付箇所

型式	H1	H
H1417	100~135	140~175
H1721	135~170	175~210

部品名称	個数		
	C3030用	C3055用	C3085用
支持金具	4セット	4セット	6セット
①支持金具 (H1417, H1721) ×1	4	4	6
②角ワッシャー (□28 ユニクロ) ×1	4	4	6
③六角ボルト (W3/8×45) ×1	4	4	6
④丸ワッシャー (ユニクロ) ×1	4	4	6
アンカー金具	4セット	6セット	6セット
①アンカー金具 ×1	4	6	6
②六角ボルト (W3/8×45) ×1	4	6	6
③丸ワッシャー (ユニクロ) ×2	8	12	12

はと小屋ポップを型枠に固定する高さ調整可能な支持金具とアンカー金具のセット商品です。コンクリート埋設の際に使用します。使用方法については施工手順の欄を参照してください。本商品は、はと小屋ポップの付属品ではありませんので、別途ご注文が必要になります。

ご用意いただくもの

- ①コーキング材 (無溶剤系)
- ②バックアップ材 (φ20程度) (下部本体と上部本体間の止水用)
- ③配管孔埋め用パテ材 (エポキシ系充填接着パテ材)
- ④後打ちアンカー (W3/8・M10) (スラブにアンカー固定する場合)

施工手順(コンクリート埋設)

1. 開口位置の確認

- ①配筋後、コンクリートスラブの開口位置の確認をします。

2. 下部本体の据付作業

- ①配筋上に栈木(バタ角)を平行にして置き、その上に下部本体を載せます。
- ②支持アンカーセットの取り付け
下部本体の4隅に設けた取付孔に支持金具を取り付けます。支持金具は下部本体の据付け高さを考慮して、予め所定の高さに調整しておきます。
- ③残りの取付孔にアンカー金具を4か所均等に取り付けます。
- ④栈木を外して、下部本体をスラブ型枠上に据え置きます。
- ⑤下部本体の据付け高さを確認し、調整が必要であれば、支持金具の高ナット部分を回転させて微調整を行います。その際、固定用の六角ボルトは緩めておきます。
- ⑥高さが決まれば、六角ボルト、板ナットを締め付けて固定した後、支持金具の脚部を釘でスラブ型枠に固定します。

※下部本体の上開口部は、コンクリート打設後に雨水等が溜まらないようにシート等を掛けるなどして確実に養生してください。

3. コンクリートの打設

- ①スラブにコンクリートを打設します。

4. 防水処理

- ①コンクリートスラブの防水処理の際、下部本体の立ち上がり部分まで防水処理を行います。アスファルト防水、シート防水、塗膜防水等に使用することができます。

5. 配管設置

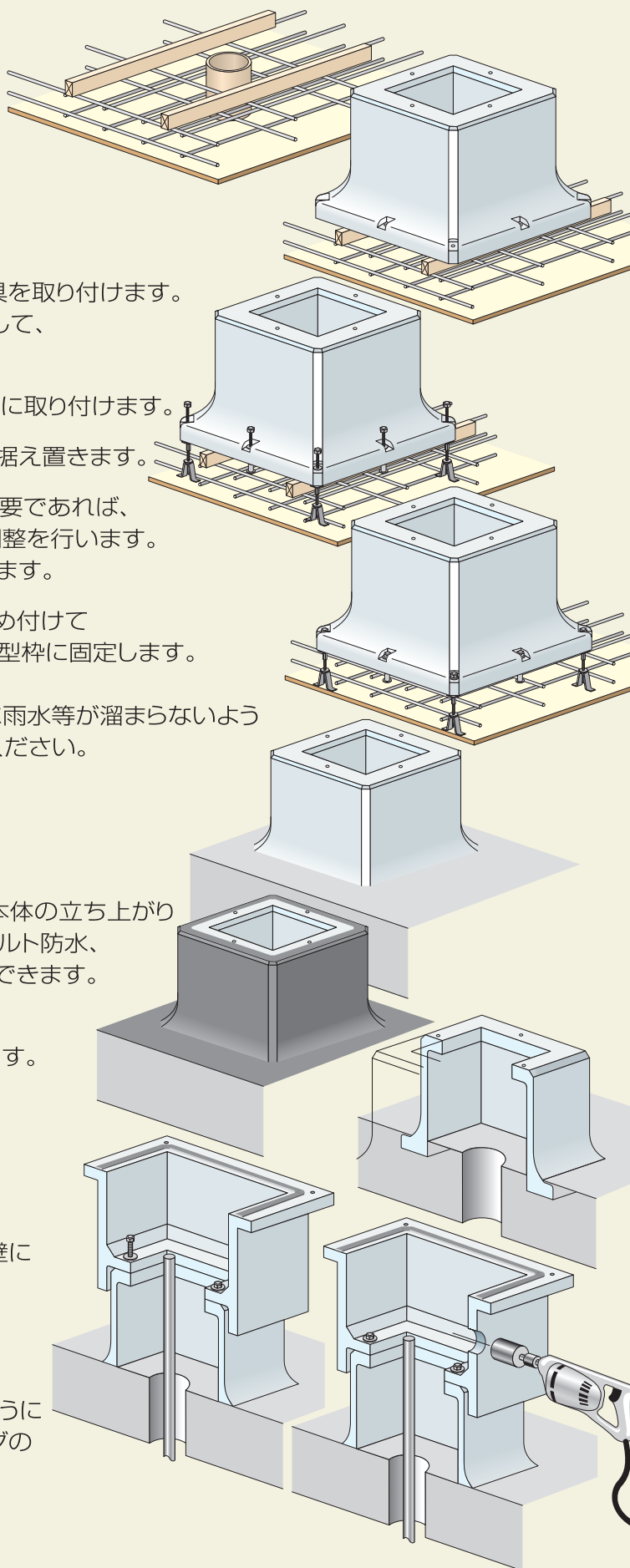
- ①スラブの開口より配管を立ち上げておきます。

6. 上部本体の設置

- ①上部本体を下部本体の上に乗せ、付属の六角ボルト、ワッシャーで固定します。
- ②配管用の開口を開けます。
ホルソー等の工具を使って上部本体の側壁に適宜大きさの開口を開けます。
開口を複数設ける場合は、開口の間隔が100mm以上となるようにしてください。

※開口に適宜長さの塩ビ管などを隙間がないように固定すれば、配管後の孔埋め作業やラッキングの施工がしやすくなります。

※上部本体の基板はEPSですので簡単に開けることができます。



配管用開口について、予めご指定の開口径、位置に開けたものも製作いたしますのでお申し付けください。

7. 配管作業

①配管の設置作業を行います。

②孔埋め作業

開口の配管周りを配管孔埋め用パテ材で塞ぎます。(エポキシ系充填接着パテ材)

注：一般のモルタルは使用しないでください。漏水の原因となる場合があります。

8. カバーの取付け

①配管作業を完了した後、カバーを付属のステンレス製六角ボルトと六角ナットにより固定します

固定部分のゴム板と上部本体上面に貼り付けた止水材(発泡PE)により水の侵入を防止します。

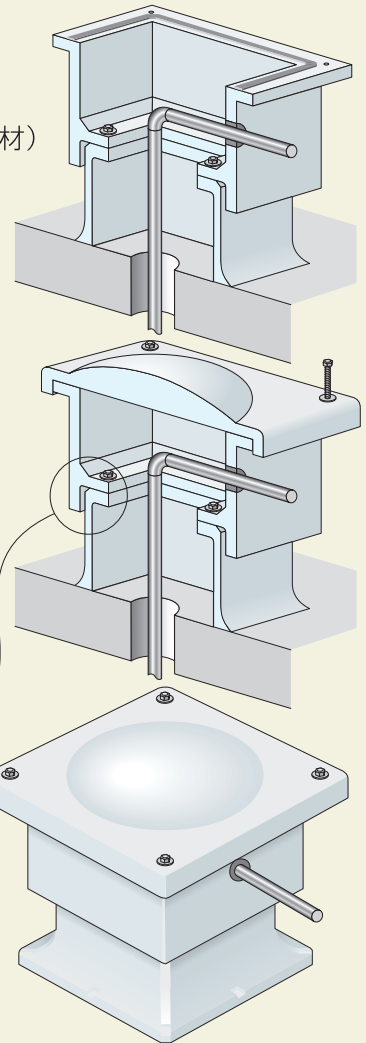
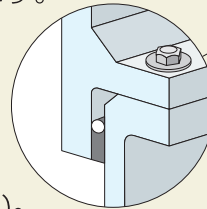
注：ボルト、ナットの過度の締め付けには十分にご注意ください。過度の締め付けによりカバー及び本体が破損する場合があります。

9. コーキング作業

①下部本体と上部本体の隙間にバックアップ材を押し込んで、市販のコーキング材を塗布して水の跳ね上がり等による浸水を防ぎます。

10. 点検・補修

①取付け状態、仕上がり状態を確認し、必要に応じて補修作業を行います。特に本体等の損傷、コーキング材及び配管孔埋め用パテ材の未充填、カバーの不完全な固定がないかを確認してください。



施工手順(アンカー固定)

1. 墨出し

①据付位置のコンクリートスラブ面が平坦であるか十分に確認し、コンクリートノロや汚れがあれば清掃してください。

注：不陸部分がありますと、ボルトの過度の締め付けにより割れが発生する恐れがありますので、十分に注意してください。

②据付位置の墨出しを行い、所定の位置に後打ちアンカー(M10又はW3/8)を4か所埋設します。

注：後打ちアンカーは市販のものをご用意ください。

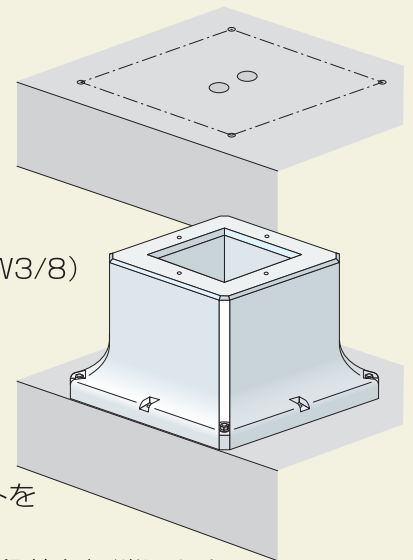
2. 下部本体の据付作業

①下部本体をアンカー位置に合わせて配置し、4隅の取付孔からボルトを締め込んでコンクリートスラブに固定します。

②必要に応じて、コンクリートスラブとの段差部分にモルタルを打って段差を解消します。

※下部本体の上開口部は、雨水等が溜まらないようにシート等を掛けるなどして確実に養生してください。

3. 以降はコンクリート埋設の4.防水処理からと同じとなります。



★注意事項★

- 火気を伴う作業やアスファルト防水等、高温の材料、作業を伴う場合には十分に確認してご使用ください。
- 本体に強い衝撃を掛けたり、鋭利なものを当てたりしないでください。また、カバーに上がったり、荷物等を載せたりすることは絶対にしないでください。

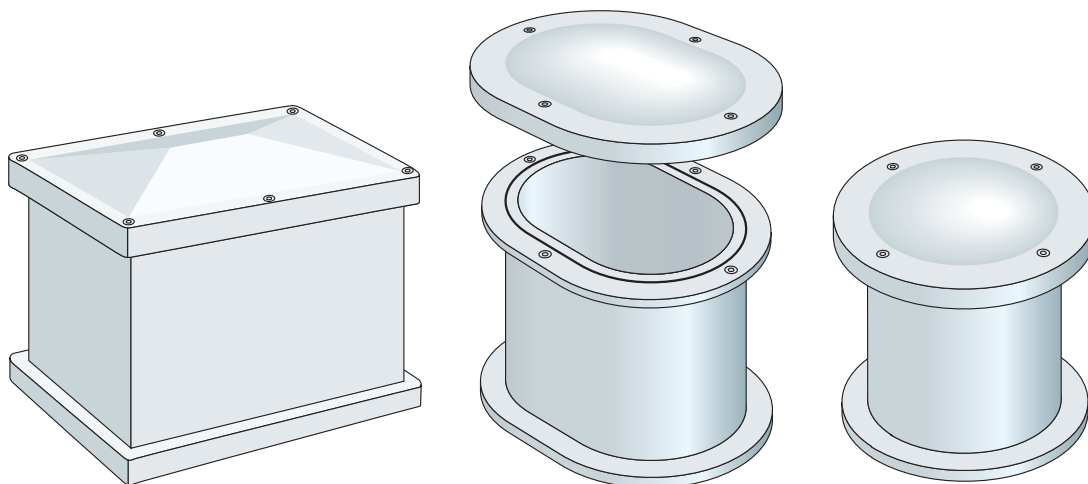
オール樹脂タイプ 超軽量!!

☆受注生産対応

製品の基本構成は本体とカバーです。
 ご要望の形状、大きさにできますのでご相談ください。
 開口を開ける場合は、その内面もウレタン樹脂塗装仕上げとなります。
 また、複数の開口を必要とされる場合は、開口の間隔が 50mm 以上となるようにご指定下さい。

製品仕様

製品形状



材質

	材 料			塗装色 (吹付け塗装)	規格品形状
	基 板		表 面		
本 体	EPS (ビーズ法ポリスチレンフォーム) (難燃性、自己消火性) (発泡倍率 45 倍)	側面 35mm	ウレタン樹脂塗装 (2mm)	グレー (水性アクリル系)	サイズ表
カバ ー		基面 50mm			
		周面 30mm			

付属部品

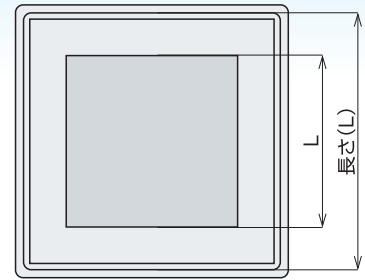
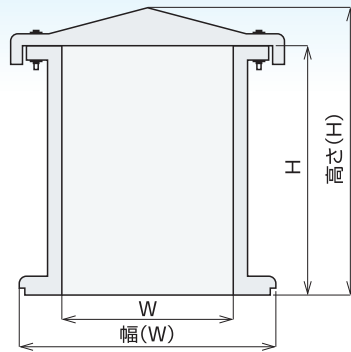
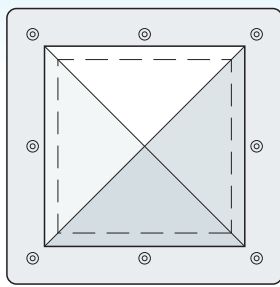
- ①接着剤
- ②六角ボルト (M8×90 SUS)
- ③ナット (M8 SUS)
- ④丸ワッシャ (SUS)
- ⑤丸ワッシャ用ゴム板 (EPDM)

ご用意いただくもの

- ①セメント
- ②コーキング材 (無溶剤系) (本体接地回りの止水用)
- ③配管孔埋め用パテ材 (エポキシ系充填接着パテ材)

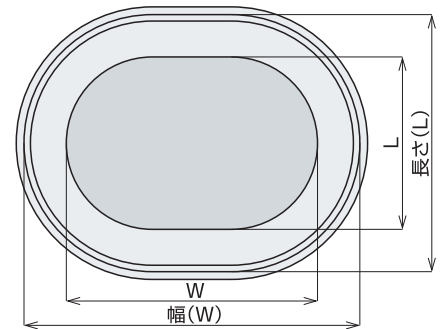
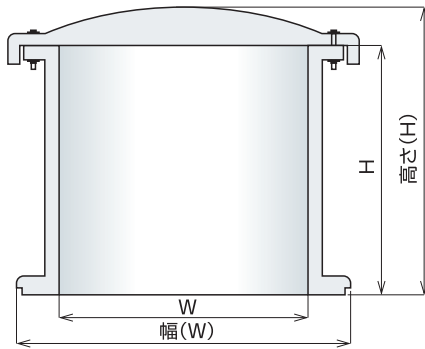
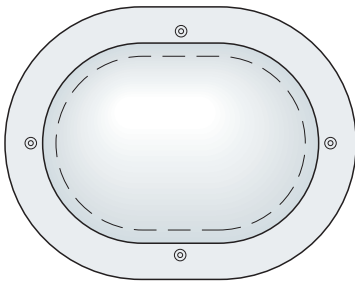
サイズ表

矩形タイプ



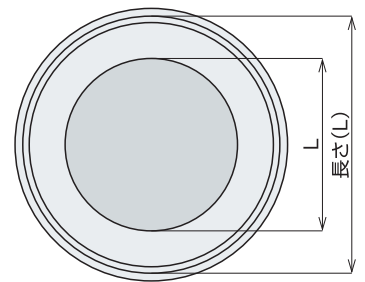
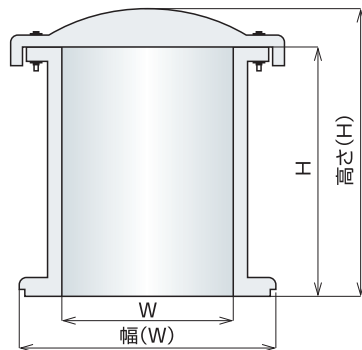
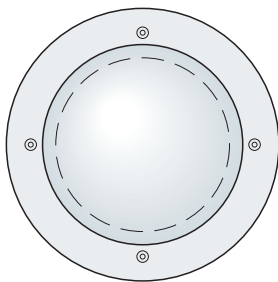
型式	タイプ	有効寸法 (mm)			外寸 (mm)		
		W	L	H	幅 (W)	長さ (L)	高さ (H)
C3030U	矩形	300	300	650	520	520	750
C3060U		300	600	650	520	820	750
C4590U		450	900	650	670	1120	750
C6060U		600	600	900	820	820	1000
C6090U		600	900	900	820	1120	1000

楕円形タイプ



型式	タイプ	有効寸法 (mm)			外寸 (mm)		
		W	L	H	幅 (W)	長さ (L)	高さ (H)
DR45U	楕円形	450	300	650	670	520	750
DR60U		600	450	650	820	670	750

円形タイプ

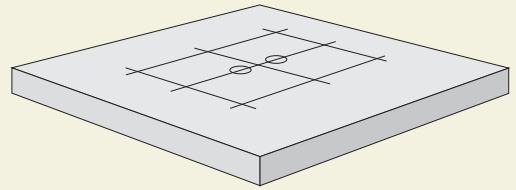


型式	タイプ	有効寸法 (mm)			外寸 (mm)		
		W	L	H	幅 (W)	長さ (L)	高さ (H)
R45U	円形	450	—	650	670	—	750
R60U		600	—	650	820	—	750

施工手順

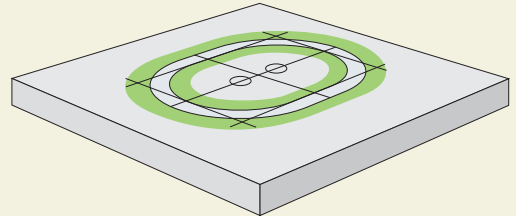
1. 墨出し

- ①据付位置のスラブ面が平滑であることを確認します。
また、コンクリートノロや汚れがあれば清掃してください。
- ②コンクリートスラブ上の据付位置に墨出しを行います。
- ③墨出し後、はみ出した樹脂モルタルを取り除き易いようにテープで養生してください。



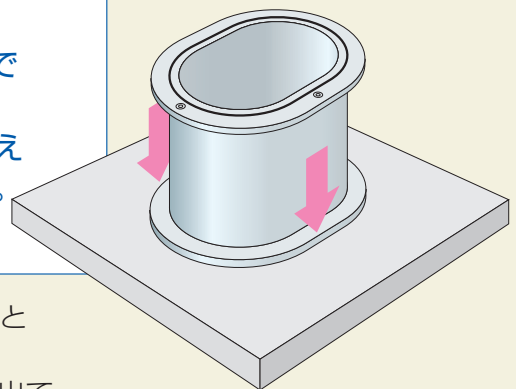
2. 据付作業

- ①据付位置に樹脂モルタルを3mm以上を目安としてほぼ均一になるように塗布します。
又は、本体をひっくり返して、接地面となる底面部分に樹脂モルタルを同様に塗布します。



★樹脂モルタルの作り方

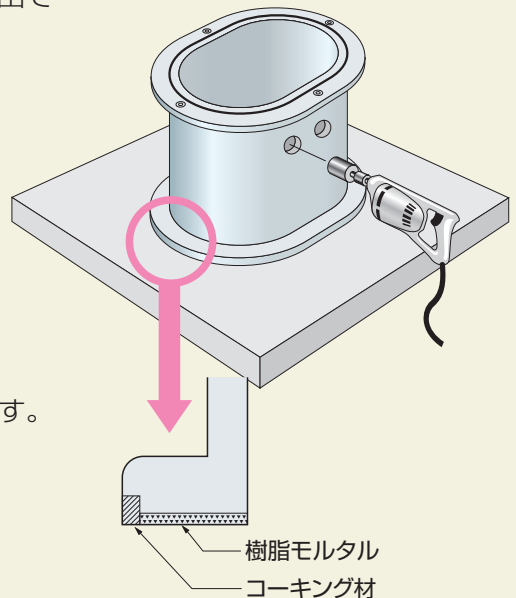
付属の接着剤と市販のポルトランドセメントを重量比1:1で混合をし、5分ほど攪拌し、数分後に1~2分攪拌します。接着剤とセメントだけでは固めですので、水を少量ずつ加えながら、適度な柔らかさになるまで混ぜ合わせてください。天候が降雨や積雪時の場合は施工を避けてください。



- ②本体を前後左右に少しずつ動かしてなじませながらしっかりと押さえ付けて貼り付けます。
その際、樹脂モルタルが本体の底面部分の両側から必ずはみ出てくるまで押し付けてください。

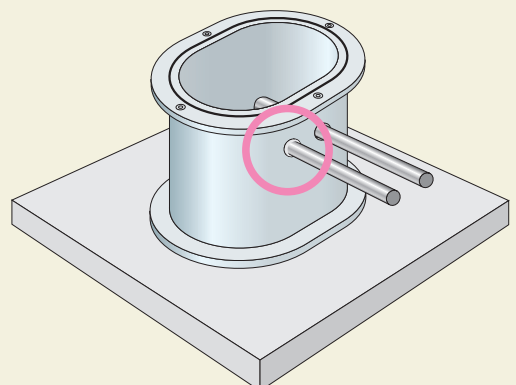
注：本体の下端の切欠部分にはみ出した樹脂モルタルは取り除いてください。

- ③コーキング作業
本体下端の切欠部分にコーキング材を充填して止水処理を行います。
コーキング材は無溶剤系を使用してください。
- ④配管用の開口を開ける
ホルソーを使って本体の側壁に適宜大きさの開口を開けます。
開口を複数設ける場合は、開口の間隔が100mm以上となるようにしてください。
※基板はEPSですので簡単に開けることができます。



配管用開口について、予めご指定の開口径、位置に開けたものも製作いたしますのでお申し付けください。

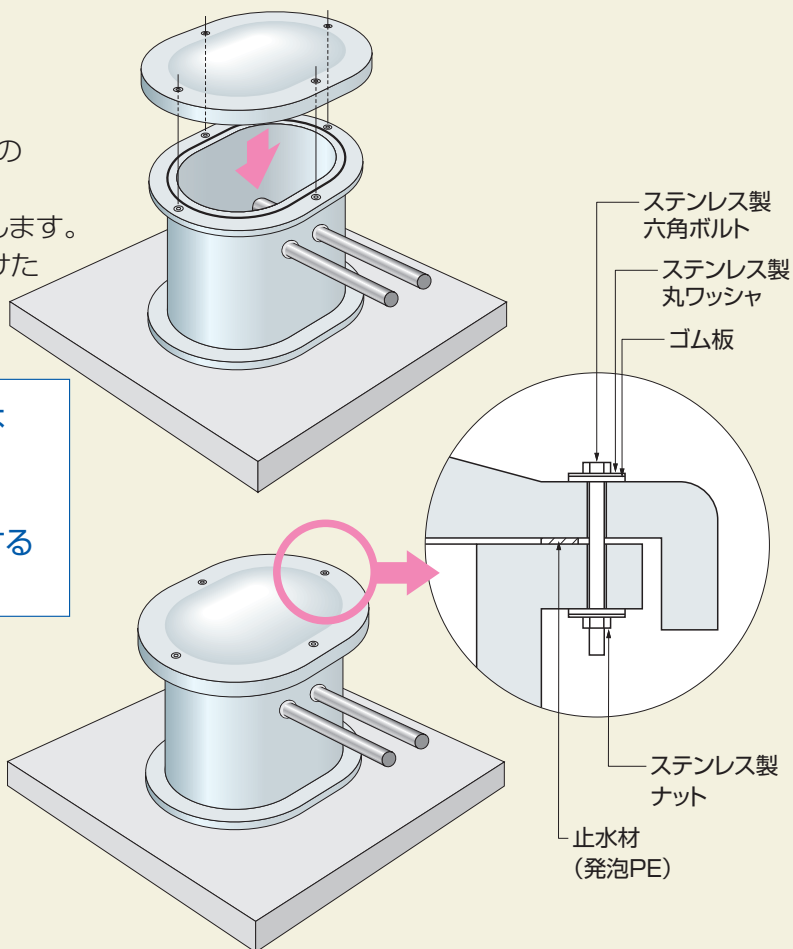
- ⑤配管作業
配管作業を行います。
- ⑥孔埋め作業
開口の配管周りを配管孔埋め用パテ材（エポキシ系充填接着パテ材等）で塞ぎます。



注：一般のモルタルは使用しないでください。
漏水の原因となる場合があります。

⑦カバーの取付け

配管作業を完了した後、カバーを付属のステンレス製六角ボルト(上側)とステンレス製ナット(下側)により固定します。固定部分のゴム板と本体上面に貼付けた止水材(発泡PE)により水の浸入を防止します。



注：ボルト、ナットの過度の締め付けには十分にご注意ください。過度の締め付けによる集中的な応力によりカバー及び本体が破損する場合があります。

3. 点検、補修

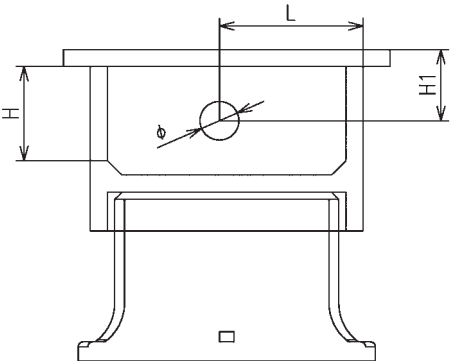
取り付け状況、仕上がり状況を確認し、必要に応じて補修作業を行います。特に本体等の損傷、コーキング材及び配管孔埋め用パテ材の未充填、カバーの不完全な締結がないか確認してください。



★注意事項★

- アスファルト防水工事、改質アスファルトシート防水工事にはご使用できません。
- 本体に強い衝撃を掛けたり、鋭利なものを当てたりしないでください。また、カバーに上がったり、荷物等を載せることは絶対にしないでください。

はと小屋ポット 発注書

物件名			
お客様名			担当者様
			携帯電話
住所	〒	TEL	
		FAX	
		E-mail	
納期			
ご注文 ※ご注文品にチェックを入れ、数量を記入して下さい。			
規格品	<input type="checkbox"/> C3030-1(数量)	<input type="checkbox"/> C3030-2(数量)	<input type="checkbox"/> C3030-3(数量)
	<input type="checkbox"/> C3055-1(数量)	<input type="checkbox"/> C3055-2(数量)	<input type="checkbox"/> C3055-3(数量)
	<input type="checkbox"/> C3085-1(数量)	<input type="checkbox"/> C3085-2(数量)	<input type="checkbox"/> C3085-3(数量)
受注品 オール 樹脂 タイプ	<input type="checkbox"/> C3030U(数量)	<input type="checkbox"/> C3060U(数量)	<input type="checkbox"/> C4590U(数量)
	<input type="checkbox"/> C6060U(数量)	<input type="checkbox"/> C6090U(数量)	
	<input type="checkbox"/> R45U(数量)	<input type="checkbox"/> R60U(数量)	
	<input type="checkbox"/> DR45U(数量)	<input type="checkbox"/> DR60U(数量)	
特注品 ※必要な寸法、数量を記入して下さい。 ※記載部分以外の変更が必要な場合は、略図を用いてご記入下さい。			
(数量 :)		略図	
		<hr/> <hr/> <hr/> <hr/>	
H :			
φ :			
L :			
H1 :			

マルイ防やは安心のマークです。



ワンタッチのマルイ



- 商品の使用に当たっては、注意事項をご確認の上、正しくご利用ください。また、本商品の正規の使用目的、用途、方法以外に使用された場合には責任を負いかねますのでご了承ください。
- カタログ記載の規格・仕様は製品改良のため予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

MARUI

〒733-8616 広島市西区商工センター1-1-46

<https://www.marui-sangyo.jp/>

☎営業所

札幌	011 786 0101	東京	03 5626 0101	名古屋	052 712 0101	大阪	06 4394 0101	山口西	083 283 0101
旭川	050 3151 0101	西東京	03 3301 0101	名古屋南	052 770 0101	大阪彩都	072 647 0101	北九州	093 603 0101
函館	050 3144 0101	南東京	03 3799 0101	小牧	0568 73 0101	大阪北	072 820 0101	福岡	092 474 0101
青森	017 753 0101	北東京	03 5647 0101	三河	0566 77 0101	大阪南	072 250 0101	佐賀	0952 26 0101
秋田	018 863 0101	八王子	042 646 0101	静岡	054 283 0101	阪和	073 477 0101	佐世保	0956 34 0101
盛岡	050 3132 0101	多摩	042 369 0101	沼津	050 3145 0101	池田	072 777 0101	長崎	095 848 0101
仙台	022 788 0101	埼玉	048 685 0101	浜松	053 464 0101	神戸	078 578 0101	大分	097 556 0101
山形	023 624 0101	西埼玉	049 262 0101	三重	059 226 0101	姫路	079 235 0101	熊本	096 389 0101
新潟	025 286 0101	熊谷	050 3116 0101	富野	026 259 0101	岡山	086 243 0101	熊崎	0985 51 0101
長岡	0258 21 0101	千葉	043 232 0101	本松	050 3135 0101	福山	084 926 0101	都城	050 3154 0101
福島	024 545 0101	船橋	047 431 0101	岐阜	058 246 0101	南日本	0859 35 0101	鹿児島	099 253 0101
郡山	024 961 0101	柏	050 3172 0101	山本	076 422 0101	高松	087 886 0101	沖繩	098 954 0101
栃木	028 656 0101	君津	0439 55 0101	金沢	076 260 0101	徳島	088 625 0101	宜野湾	098 898 0101
群馬	027 346 0101	横浜	045 474 0101	福井	0776 23 0101	松山	089 952 0101	石垣	ご連絡は沖縄まで
茨城	0298 24 0101	南横	045 813 0101	滋賀	077 582 0101	高知	088 866 0101		
水戸	029 248 0101	川崎	044 799 0101	京都	075 778 0101	広島	082 501 0101		
山梨	055 275 0101	厚木	046 228 0101	奈良	0744 32 0101	山口東	0834 25 0101		

FAX 営業所

札幌	011 783 0101	東京	03 5628 0101	名古屋	052 711 0101	大阪	06 6554 0101	山口西	083 255 0101
旭川	050 3152 0101	西東京	03 5382 0101	名古屋南	052 747 0101	大阪彩都	072 853 0101	北九州	093 602 0101
函館	050 3149 0101	南東京	03 3790 0101	小牧	0568 72 0101	大阪北	072 824 0101	福岡	092 483 0101
青森	017 728 0101	北東京	03 5838 0101	三河	0566 72 0101	大阪南	072 258 0101	佐賀	0952 65 0101
秋田	018 864 0101	八王子	042 697 0101	静岡	054 288 0101	阪和	073 475 0101	佐世保	0956 25 0101
盛岡	050 3134 0101	多摩	042 362 0101	沼津	050 3173 0101	池田	072 770 0101	長崎	095 843 0101
仙台	022 782 0101	埼玉	048 687 0101	浜松	053 466 0101	神戸	078 512 0101	大分	097 553 0101
山形	023 625 0101	西埼玉	049 264 0101	三重	059 227 0101	姫路	079 234 0101	熊本	096 349 0101
新潟	025 287 0101	熊谷	050 3164 0101	富野	026 235 0101	岡山	086 245 0101	熊崎	0985 50 0101
長岡	0258 46 0101	千葉	043 234 0101	本松	050 3138 0101	福山	084 928 0101	都城	050 3158 0101
福島	024 546 0101	船橋	047 495 0101	岐阜	058 247 0101	南日本	0859 23 0101	鹿児島	099 286 0101
郡山	024 941 0101	柏	050 3107 0300	山本	076 493 0101	高松	087 868 0101	沖繩	098 969 0101
栃木	028 664 0101	君津	0439 54 0101	金沢	076 263 0101	徳島	088 655 0101	宜野湾	098 890 0101
群馬	027 353 0101	横浜	045 476 0101	福井	0776 26 0101	松山	089 965 0101	石垣	ご連絡は沖縄まで
茨城	0298 26 0101	南横	045 814 0101	滋賀	077 583 0101	高知	088 861 0101		
水戸	029 247 0101	川崎	044 754 0101	京都	075 777 0101	広島	082 279 0101		
山梨	055 251 0101	厚木	046 229 0101	奈良	0744 33 0101	山口東	0834 26 0101		